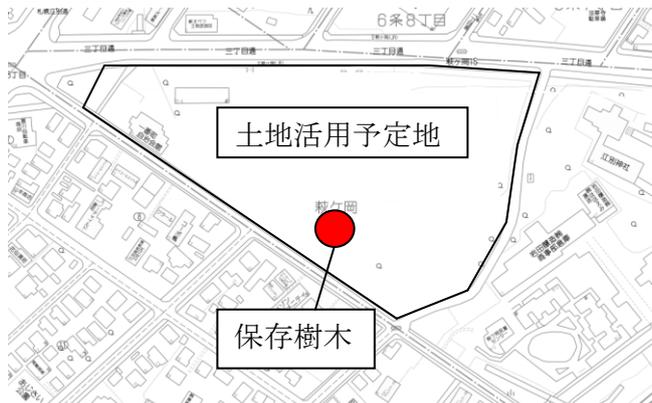


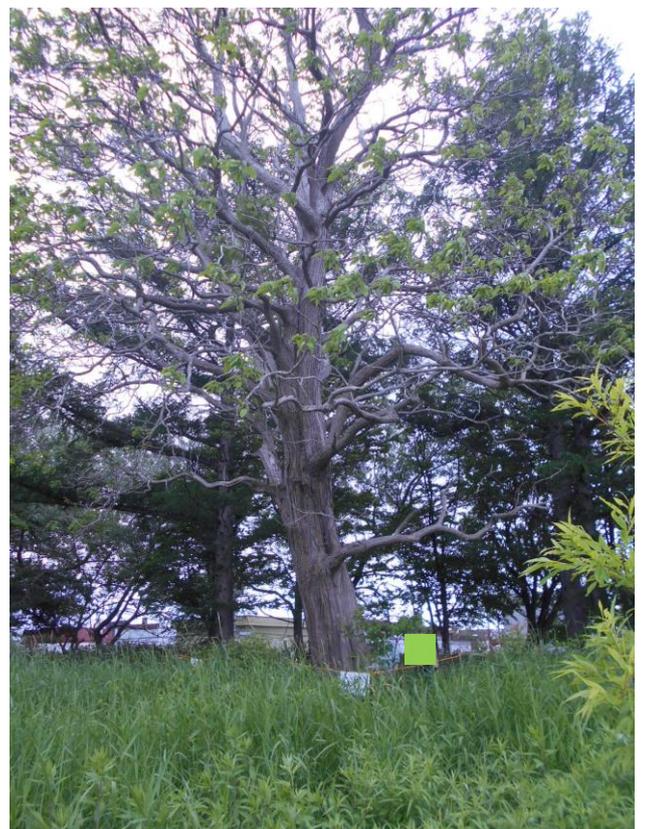
当該保存樹木の状況について

樹木番号	No.1	樹 種	アメリカキササゲ
場 所	旧江別小学校跡地 (萩ケ岡 19 番地)	指 定 日	平成 13 年 2 月 5 日 (指定樹木への指定は、平成 3 年 2 月 4 日)
直 径	105 c m (胸高周 339cm)	樹 高	21m (推定樹齢 120 年程度)
所 有 者	江別市 (総務部財務室契約管財課)		
指定理由	市内では珍しい大木で、成長も早く、6 月頃に美しい花が咲く。		
状 況	当該保存樹木は平成 10 年に発泡ウレタンによる充填治療を行い、同 15 年には発泡ウレタンを取り除き、エアパイプを埋設するなど、治療に取り組んできたが、令和 2 年の経過観察時には、幹の亀裂や多数の枯枝が見つかり、樹勢の減衰が確認されている。		
参 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該場所は平成 28 年 3 月に江別小学校が閉校して以降、その利活用について、「江別駅周辺地区土地利用検討委員会」での検討結果を踏まえ、昼間人口の増とにぎわいの創出を目指す方向性で検討を行ってきた。</li> <li>・土地利用に向けて実施したサウンディング型市場調査 (民間事業者からアイデアを募る) では、商業機能誘導の可能性を把握できた。</li> <li>・今年度中に利活用事業者の公募を行うこととしているが、敷地内の当該保存樹木について、その保全を視野に入れつつ、取扱いを検討するため、樹木医による診断を行った。</li> </ul>		

位置図

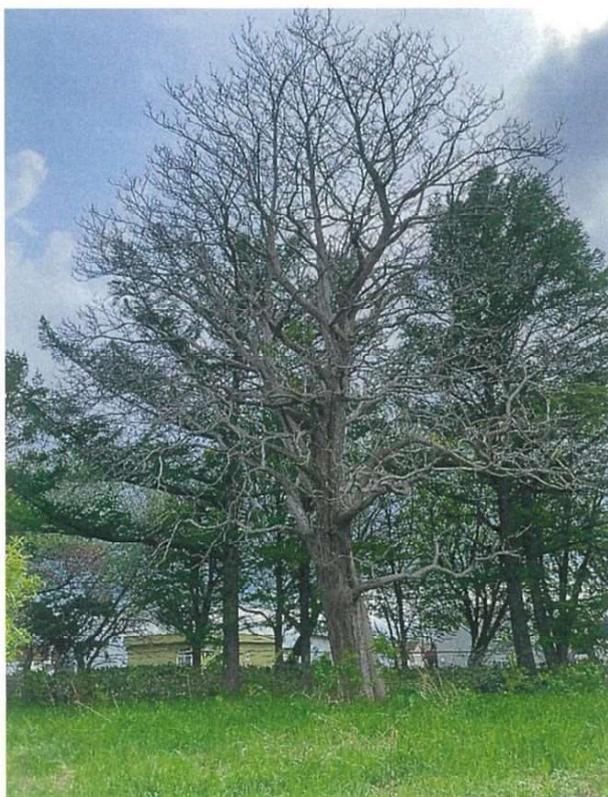


現況写真 (令和 7 年 6 月 12 日時点)



江別市 萩ヶ岡  
旧江別小学校  
アメリカキササゲ  
樹木診断カルテ

調査日：2025年5月13日・18日



樹木医（登録No.1462）細椋 聡子

(様式 1)

### 樹木診断カルテ

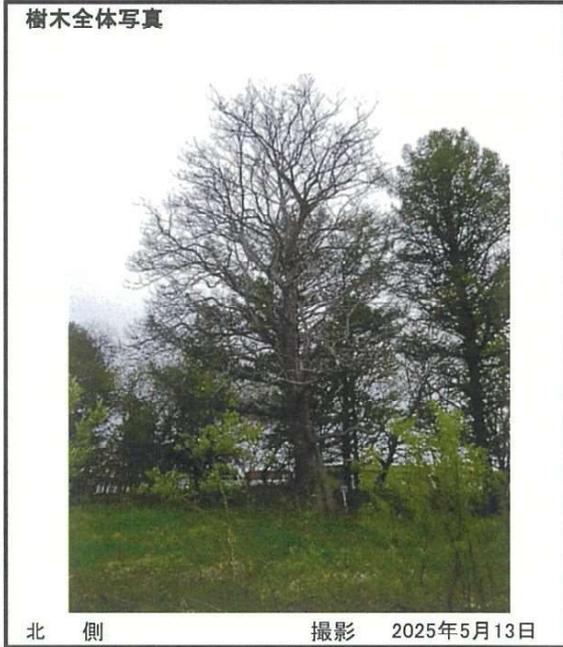
				樹木医	細樅 聡子		
江別市	整理番号	1	1	樹木No.	1		2025年5月13日 調査
路線名	-	路線番号	-	植栽箇所	江別市萩ヶ岡19		
樹種	アメリカキササゲ	樹高(m)	20m以上	枝張り(m)	13.3	×	12.8
支柱の種類	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり( )			植樹地形状	緑地		

容姿診断		評価			
		1	2	3	4
樹形		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
枝の枯損 や折れ	梢頭部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	中下部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
枝葉の密度		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
葉の色、形、大きさ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
病虫害		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
剪定		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
容姿診断結果		-			

※今回は葉が展葉しておらず容姿診断不能

#### <容姿所見>

大径木。樹高が高く葉張りが大きい。展葉前のため健全枝葉量・樹勢は不明。昨年の鞘が少ない。枝のバランスは良好だが、大枝に重量があり枝分岐部に負荷がかかっている。



健全度診断		評価			
		1	2	3	4
腐朽		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
傷 (樹皮の枯死や損傷を含む)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キノコ		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(未確認: 幹空洞部(心材腐朽)にキノコ発生の可能性あり)		
木槌打診(異常音)		<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(南側幹に心材腐朽部分に異常音あり)		
分岐部・付根の異常		<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(大枝分岐部に樹皮欠損・心材腐朽・実生木発生)		
胴枯れなどの病害		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり( )		
虫穴・虫フン、ヤニ		<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(幹下部樹皮に虫穴(あるが目立たない))		
幹を揺らした時の根元の揺らぎ		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり( )		
銅棒貫入異常		<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(南側心材腐朽箇所のGL下40cm貫入)		
巻き根		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり( )		
ルートカラー		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし(植栽深さは適切)		
根の露出		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり( )		
建築限界への侵入		<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	・車道側: <input type="checkbox"/> 幹 <input type="checkbox"/> 枝	・民地側: <input type="checkbox"/> 幹 <input type="checkbox"/> 枝
不自然な傾斜		<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(南側から北側へ傾斜あり)		
健全度診断結果		3			

#### <健全度所見>

南側から北側へ傾斜あり。南側幹H10m付近～地際にかけて心材腐朽(深さ50cm程度)・縦方向に幅5～10cm程度の樹皮欠損(開口部)。辺材部の巻き込みが厚く形成されている。腐朽部分に治療痕あり: 内部に排水パイプ・ウレタン充填痕あり。

総合評価	
1 健全	
2 要観察	○
3 危険	

移植適否	
1 適	
2 不適	○

#### <総合的な所見、対応等>

南側幹の心材腐朽が進行し空洞音が著しい。腐朽部は開口部が狭く辺材で支持されているが、北側への傾斜・GL下貫入異常(根株腐朽)があるため倒木の危険がある。今年の出葉状況を確認し、樹勢を保ちつつ上部の枝重量を減らす剪定を施すべき。辺材の巻き込みが厚く形成されているが、開口部を塞ぐまでに至っていないため、何らかの要因で樹勢が衰弱したと考えられる。キササゲは翌年の葉が展葉するまで前年に形成されたさや(果実)が残っている場合が多いが、本樹は数個のみであるため、上部の衰弱化が推測された。今回は展葉前(芽吹き前)であったため上部の状態を診断できなかったが、5/18に状況を確認した際、さやが残っている枝に芽吹きが確認された。7月以降、出葉が落ち着いたころに再度状態を確認したい。 ※幹内部のパイプは不要。

#### <移植の適否に関する所見>

上部の樹勢衰弱および幹の心材腐朽進行中のため、移植は非常に困難であり不適。

(様式 2)

### 樹木診断カルテ

江別市	整理番号	1	1	樹木No	1	2025年5月13日	調査
-----	------	---	---	------	---	------------	----

<b>側面図</b> H.1.0m 付近 幹樹皮欠損(亀裂) 心材腐朽(治療痕あり) 大枝分岐部に樹皮欠損 GL下 40cm鋼棒貫入 南側 北側	<b>診断概要図</b> 南側から北側へ傾斜あり 大枝分岐部に亀裂からの樹皮欠損あり 南側幹に心材腐朽空洞音あり 枝折れ痕の枯下がりあり 西側
---	--

<b>断面図</b> 150 cm 50cm 貫入 130 cm 南側 地上高 0 cm cm 地上高 cm 側
--

<b>傷や腐朽・枯れ枝等の写真</b> 大枝分岐に亀裂からの凹み・樹皮欠損
--

南側幹の心材腐朽・樹皮欠損状況 腐朽部H0cm : 水平方向50cm・縦方向40cm貫入
--

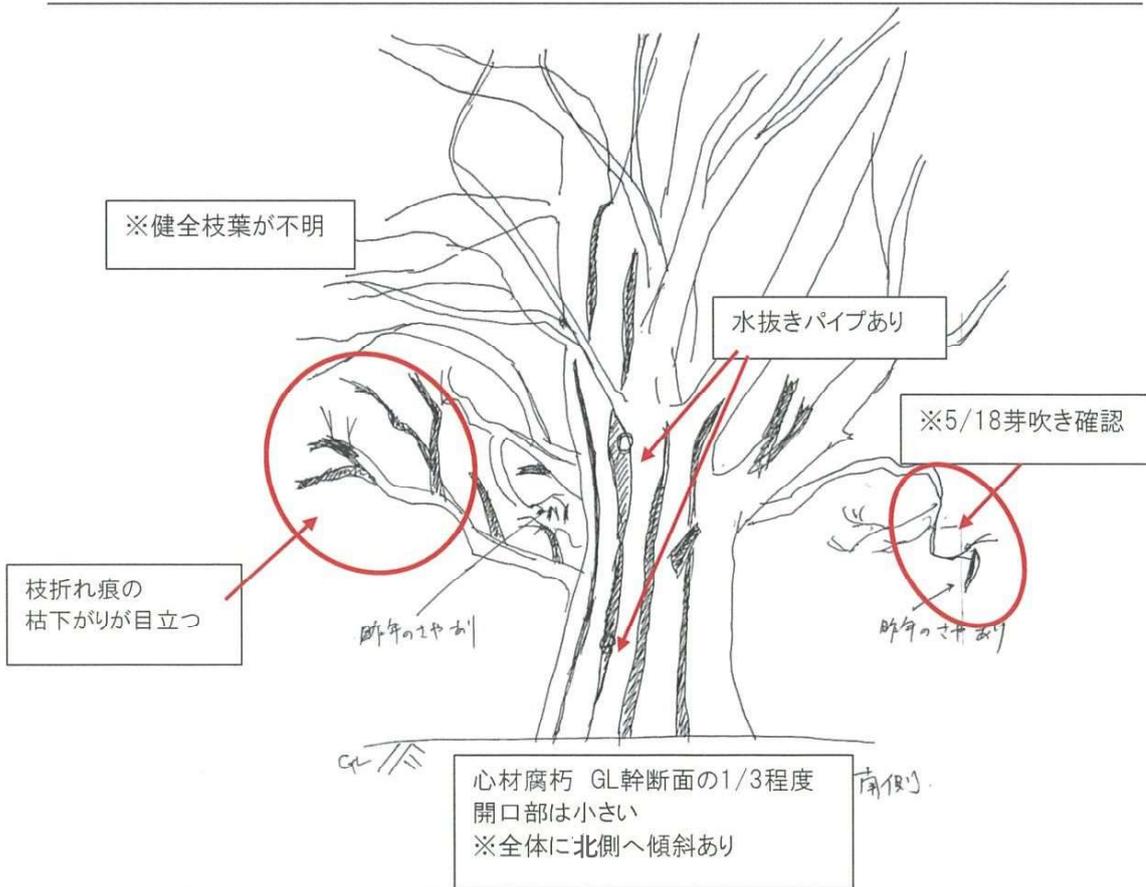
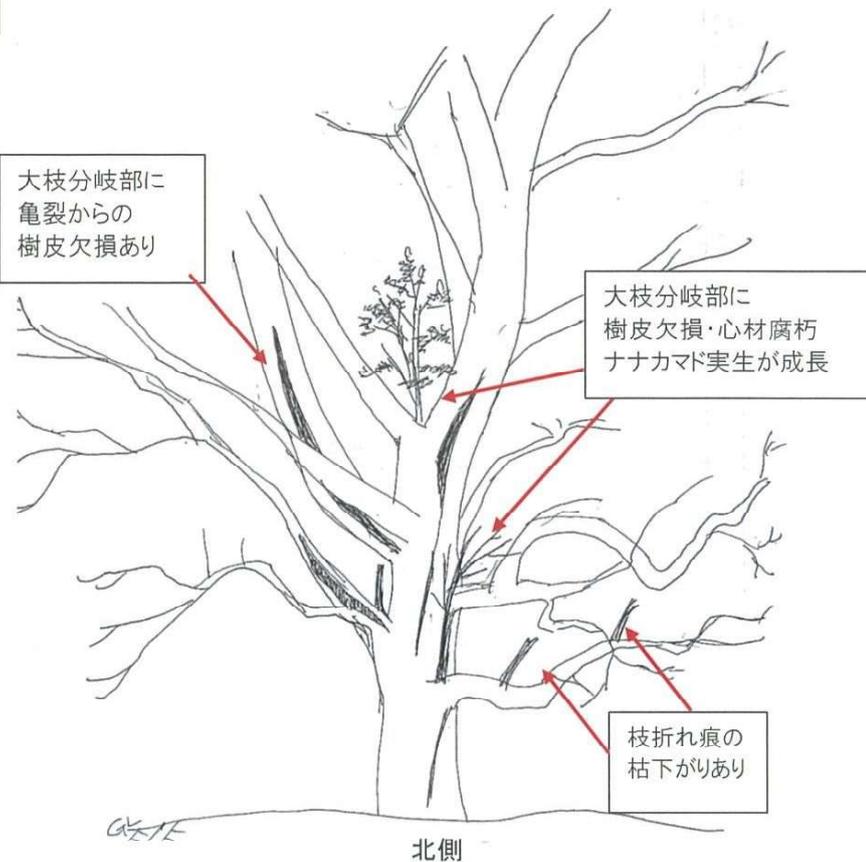
  

		
---	---	--

# 樹木診断カルテ

江別市	整理番号	1	1	樹木No	1	2025年5月13日	調査
-----	------	---	---	------	---	------------	----

## 診断概要図:スケッチ



## 関係法令

## ○江別市緑化推進条例（昭和 59 年 3 月 31 日条例第 12 号）

（保存樹木等の指定）

第 6 条 市長は、緑豊かな環境の確保及び美観風致を維持するため、別に定める基準の樹木又は樹林を、その所有者又は権利者（以下「所有者等」という。）の同意を得て保存樹木又は保存樹林（以下「保存樹木等」という。）として指定することができる。

（指定の解除）

第 10 条 市長は、保存樹木等について指定の理由が消滅したときは、遅滞なくその指定を解除しなければならない。

## ○江別市緑化推進条例施行規則（昭和 59 年 3 月 31 日規則第 18 号）

（保存樹木等の指定基準）

第 2 条 条例第 6 条第 1 項に規定する基準は、次のとおりとする。

（1）保存樹木については、次のいずれかに該当し、健全で、かつ、樹容がすぐれているもの

ア 樹木の胸高直径が 70 センチメートル以上のもの

イ 樹高が 10 メートル以上のもの

ウ 低木にあつては高さが 2.5 メートル以上で、かつ、樹冠の直径が 3.5 メートル以上のもの

エ ツル性の植物にあつては、緑被面積が 30 平方メートル以上のもの